

事業所名

Uライフ

支援プログラム（重心以外児童発達支援）

作成日

令和7年

4月

1日

法人（事業所）理念		「どんな障がいのある人も、地域の中で生活する」を基本とし、障がいのある人々が、働くことを通じて自己の存在感と生きがいを見だし、また人とふれあい関わり合うことによって基本的な生活習慣を身につけ、将来は「どんな障がいのある人も、地域の中で生活する」ということを目標に、一人ひとりに合わせた支援を行うことを目的とします。法人の事業所は、将来の目標に向けて地域の中にたくさんの理解者を作るため、本人や家族・職員・ボランティアの人たちと、共に学び、共に育ち、お互いの理解を深め、明るい未来を築き上げる拠点として設置します。						
支援方針		児童発達支援事業では、日中における障害児の居場所づくりを第一に、安心安全に利用できるように支援を行います。また、活動を通して、基本的な身の回りの動作の習得や、集団生活への適応ができるように支援をします。						
営業時間		10	0分	18時	30分	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 靴を脱いで片付けたり自分で靴下、靴を履いたりなど、基本的な身の回りの動作の習得を目指します。 服のボタンをとめるなど、つまむ力や巧緻性の向上につながる動作に取り組みます。 食事から排泄までのリズムをつくれるように支援をしていきます。必要に応じて、水分の摂取の支援を行います。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 座る、立つ、歩く、走る、飛ぶなど粗大運動を遊びの中で取り入れます。また遊びの中で力加減を身に着けることを目指します。 刺激をオンとオフにする時間を作り、活動をする時間、休む時間のメリハリをつけられるようにします。スヌーズレンの提供などを通して、気持ちを落ち着ける時間を作ります。 視覚、聴覚、触覚、前庭覚、固有覚といった基礎感覚を活用する遊び（ちぎり絵や粘土遊び、トランポリンなど）を多く取り入れます。遊びの中で感覚統合を促進し、様々な感覚に対して適切な処理ができるようにしていきます。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 四季の変化に意識を向けられるような活動を提供します。活動を通して、一年の流れをつかんでいけるようにします。 それぞれの子どものルーティンは大きく崩さないよう配慮をしながら、新しいことに少しずつ挑戦していけるように支援します。 色や数字などの概念の獲得を目指します。概念を獲得から、危険の認識（信号機など）に繋がります。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが「話したい」と思えるような関わりを大切にします。意思を伝えることで理解してもらえる経験を積めるように支援します。 言語によるコミュニケーションができる場合には、言葉と場面の合致を繰り返し、場に合わせた適切な言葉を選べるように支援します。言語によるコミュニケーションが難しい場合は、マカトンサインなど、それぞれに合わせた方法で意思を表出する経験を積めるようにします。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 一人遊びから、集団への遊びへの移行を目指します。まず大人が関わり、その後に子ども同士で関われるよう、段階を踏みながら活動できるようにします。 遊びを通して、ルールを守ることを身につけられるようにします。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳や送迎時に密な情報交換を行います。また、定期的に保護者面談を行い、発達上の課題の共有や支援方法を検討する機会を作ります。 関係者・関係機関との連携による支援体制を構築します。 月に一回通信を発行し、事業所の様子や取り組みがわかるようにします。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 具体的な移行を想定した発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行います。 他関連機関との連携をはかり、支援体制を構築します。 	

<p>地域支援・地域連携</p>	<p>・園や福祉サービス等と連絡を取ったり連携会議等を行って情報共有しています。</p>	<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止に関する研修 ・感染症に関する研修および訓練 ・安全管理に関する研修（事故防止、応急手当、防犯等） ・発達に関する研修（外部研修・内部研修）
<p>主な行事等</p>	<p>・初詣、クリスマス会、ハロウィン、季節の制作等</p>		

事業所名

Uライフ

支援プログラム（重心以外放課後等デイサービス）

作成日

令和7年

4月

1日

法人（事業所）理念		「どんな障がいのある人も、地域の中で生活する」を基本とし、障がいのある人々が、働くことを通じて自己の存在感と生きがいを見だし、また人とふれあい関わり合うことによって基本的な生活習慣を身につけ、将来は「どんな障がいのある人も、地域の中で生活する」ということを目標に、一人ひとりに合わせた支援を行うことを目的とします。法人の事業所は、将来の目標に向けて地域の中にたくさんの理解者を作るため、本人や家族・職員・ボランティアの人たちと、共に学び、共に育ち、お互いの理解を深め、明るい未来を築き上げる拠点として設置します。							
支援方針		放課後等デイサービスでは、日中における障害児の居場所づくりを第一に、安心安全に利用できるように支援を行います。また、様々な年齢の子どもたちが集団で生活する中で、人との関わり方や集団生活のルールを学んでいけるよう支援をします。							
営業時間		10	0分	18時	30分	送迎実施の有無	あり なし		
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・体調の変化や心理的な不調にすぐ気づけるよう、子どもの様子を見逃さないようにします。 ・鞆を所定の場所において連絡帳を出すなど、必要な準備が自主的に行えるように支援をします。 ・身近自立に必要な、個々の課題に取り組みます。 ・長期的なスケジュール（一週間や長期休暇）の見通しが付けられるように支援をします。 ・必要に応じて、トイレトレーニングを行います。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスやリズム遊び、ボール投げなどを通して、協調運動の発達を目指します。 ・外出や散歩など、季節を感じつつ外で体を動かせる機会を作ります。 ・制作の活動を通して、ハサミを使う、色を塗る、破る、貼るなど、視覚と指先を使った協調運動の機会を作ります。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性に合わせて、スケジュール表の使用やカラータイマーの使用など、見通しがつくような支援や関わり方に努めます。 ・構造化を意識した環境づくりを行い、ストレスの軽減に努めます。 ・個々の課題に向けた取り組みを行います。また、課題に対してうまくいったことや達成できたことを十分に伝え、自己肯定感を高められるように支援します。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に合わせた自己表現の方法を尊重します。言葉のみならず、ボディランゲージやツールを使用した方法など、個々に合った方法を一緒に考えます。 ・思うようにならなかった時に取る行動も、意思表示の一つと受け取り、何が嫌だったのか、何を伝えなかったのかを十分に確認する時間を取ります。 ・他の子どもたちや支援者、地域の人など、様々な人との関わりを通して、表現の幅が広がるように支援します。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・一日のスケジュールの中に、朝の会、帰りの会など、周りと一緒に行動する場面を作ります。 ・「こんにちは」「行ってきます」「ただいま」など日常の中で自然と挨拶が出るように促しをします。 ・感謝の気持ちや謝罪の気持ちを表現できるように支援をします。 ・集団で発生する様々な人間関係において、相手も自分も大切にしたい行動を選択できるように、一緒に考えていきます。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や送迎時に密な情報交換を行います。また、定期的に保護者面談を行い、発達上の課題の共有や支援方法を検討する機会を作ります。 ・関係者・関係機関との連携による支援体制を構築します。 ・月に一回通信を発行し、事業所の様子や取り組みがわかるようにします。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な移行を想定した発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行います。 ・他関連機関との連携をはかり、支援体制を構築します。 		

<p>地域支援・地域連携</p>	<p>・学校、福祉サービス等と連絡を取ったり連携会議等を行って情報共有しています。</p>	<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止に関する研修 ・感染症に関する研修および訓練 ・安全管理に関する研修（事故防止、応急手当、防犯等） ・発達に関する研修（外部研修・内部研修）
<p>主な行事等</p>	<p>・初詣、クリスマス会、ハロウィン、季節の制作等</p>		